

貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,514,132	流動負債	3,654,831
現金及び預金	385,220	支払手形	1,664,001
受取手形	314,700	買掛金	488,686
売掛金	1,023,637	工事未払金	244,843
完成工事未収入金	643,998	短期借入金	300,000
製品	290,640	1年内返済予定の長期借入金	543,257
仕掛品	8,807	1年内償還予定の社債	35,000
未成工事支出金	77,704	リース債務	12,879
原材料	461,156	未払金	107,789
繰延税金資産	84,005	未払法人税等	29,367
未収入金	143,079	未払消費税等	24,268
その他	83,782	未成工事受入金	57,228
貸倒引当金	△ 2,601	製品保証引当金	36,272
固定資産	3,105,737	設備関係支払手形	15,376
有形固定資産	2,691,503	その他	95,859
建物	582,483	固定負債	1,027,146
構築物	56,310	社債	145,000
機械及び装置	211,491	長期借入金	551,860
車両運搬具	957	リース債務	5,155
工具、器具及び備品	31,499	退職給付引当金	311,331
土地	1,795,133	その他	13,798
リース資産	13,627	負 債 合 計	4,681,977
無形固定資産	27,614	(純資産の部)	
ソフトウェア	5,128	株主資本	1,938,123
リース資産	3,548	資本金	1,266,921
その他	18,937	利益剰余金	686,684
投資その他の資産	386,618	利益準備金	1,535
投資有価証券	211,028	その他利益剰余金	685,148
破産更生債権等	63,211	繰越利益剰余金	685,148
繰延税金資産	15,174	自己株式	△ 15,482
会員権	100,100	評価・換算差額等	△ 231
その他	156,565	その他有価証券評価差額金	△ 231
貸倒引当金	△ 159,461	純 資 産 合 計	1,937,891
資 産 合 計	6,619,869	負 債 ・ 純 資 産 合 計	6,619,869

損益計算書

(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)

(単位:千円)

科 目	金 額	額
売上高		8,839,174
売上原価		6,304,467
売上総利益		2,534,706
販売費及び一般管理費		2,217,208
営業利益		317,497
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,200	
その他	8,146	11,347
営業外費用		
支払利息	43,336	
その他	39,216	82,552
経常利益		246,292
特別利益		
固定資産売却益		1,367
特別損失		
固定資産除却損	1,221	
その他	200	1,421
税引前当期純利益		246,238
法人税・住民税及び事業税		24,962
法人税等調整額		54,778
当期純利益		166,497

株主資本等変動計算書

(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
平成23年4月1日残高	1,266,921	-	535,544	535,544	△ 14,502	1,787,963
事業年度中の変動額						
剰余金の配当	-	1,535	△ 16,893	△ 15,357	-	△ 15,357
当期純利益	-	-	166,497	166,497	-	166,497
自己株式の取得	-	-	-	-	△ 979	△ 979
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	-
事業年度中の変動額合計	-	1,535	149,603	151,139	△ 979	150,159
平成24年3月31日残高	1,266,921	1,535	685,148	686,684	△ 15,482	1,938,123

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成23年4月1日残高	△ 130	△ 130	1,787,832
事業年度中の変動額			
剰余金の配当	-	-	△ 15,357
当期純利益	-	-	166,497
自己株式の取得	-	-	△ 979
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	△ 100	△ 100	△ 100
事業年度中の変動額合計	△ 100	△ 100	150,059
平成24年3月31日残高	△ 231	△ 231	1,937,891

第42期決算公告 元旦ビューティ工業株式会社

記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの…………… 当期末の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの…………… 移動平均法による原価法

(2) デリバティブの評価基準及び評価方法

デリバティブ…………… 時価法

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

製品、仕掛品、原材料…………… 総平均法に基づく原価法(貸借対照表額は収益性の低下による簿価切下げ方法により算定)

未成工事支出金…………… 個別法に基づく原価法(貸借対照表額は収益性の低下による簿価切下げ方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)…………… 定率法
但し、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法

主な耐用年数

建物…………… 15年 ~ 38年

構築物…………… 10年 ~ 30年

機械及び装置…………… 10年

車両運搬具…………… 4年

工具、器具及び備品…………… 2年 ~ 15年

(2) 無形固定資産(リース資産を除く)…………… 定額法

主な耐用年数

自社利用のソフトウェア…………… 5年

(社内における利用可能期間)

(3) リース資産…………… 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

なお、リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の適用初年度開始前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(4) 長期前払費用…………… 均等償却

主な償却期間…………… 7年

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金…………… 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、破産更生債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 製品保証引当金…………… 製品販売後の無償補修費用の支出に充てるため、売上高に過去の実績率を乗じた額を計上しております。

(3) 退職給付引当金…………… 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による定額法により発生事業年度の翌事業年度から費用処理することとしております。

4. 完成工事高及び完成工事原価の計上基準

当期末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事契約については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事契約については、工事完成基準を適用しております。

第42期決算公告 元旦ビューティ工業株式会社

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1)ヘッジ会計の方法

長期借入金の一部について、取締役会決議に基づき将来の金利上昇リスクを軽減する目的で金利スワップ取引を行っております。当該デリバティブ取引については、財務部が実行管理を行い、特例処理(金利スワップを時価評価せず当該金利スワップに係る金銭の受払の純額を金利変換の対象となる負債に係る利息に加減する方法)を採用しております。なお、特例処理の要件を満たす金利スワップ取引については、有効性の評価を省略しております。

(2)消費税等の会計処理方法

税抜方式によって処理しております。

6. 追加情報

「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の適用

当事業年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

貸借対照表に関する注記

1. 担保に供している資産及び担保に係る債務

(1)担保に供している資産

建物	569,045 千円
構築物	10,742
機械及び装置	89,121
車両運搬具	0
工具、器具及び備品	8,617
土地	1,760,427
計	2,437,954 千円

(2)担保に係る債務

短期借入金	300,000
1年内返済予定の長期借入金	543,257
長期借入金	551,860
計	1,395,117 千円

※なお、上記債務の他、割引手形債務が2,005,057千円が存在しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額 6,058,432 千円

3. 受取手形割引高

受取手形割引高 2,005,057 千円

4. 期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当期末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、期末残高に含まれております。

受取手形	20,831 千円
支払手形	101,062 千円
割引手形	134,376 千円

株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当事業年度末における発行済株式の種類及び株式数

普通株式 7,716,063 株

2. 当事業年度末における自己株式の種類及び株式数

普通株式 39,742 株

3. 配当に関する事項

(1)配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	15,357	利益剰余金	2	平成23年3月31日	平成23年6月30日

(2)基準日が当事業年度に帰属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	15,352	利益剰余金	2	平成24年3月31日	平成24年6月29日

第42期決算公告 元旦ビューティ工業株式会社

金融商品に関する注記

1. 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、銀行等の金融機関からの借入により資金調達しております。

受取手形及び売掛金に係る顧客の信用リスクは、債権管理規程に沿ってリスク低減を図っております。

借入金の使途は運転資金及び設備投資資金であります。なお、デリバティブ取引は取締役会決議に従い、実需の範囲で行うこととしております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成24年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	385,220	385,220	-
(2)受取手形	314,700	314,700	-
(3)売掛金	1,023,637	1,023,637	-
(4)完成工事未収入金	643,998	643,998	-
(5)未収入金	143,079	143,079	-
(6)投資有価証券	1,028	1,028	-
(7)破産更生債権等 貸倒引当金※1	63,211 △ 63,211		
	-	-	-
(8)会員権 貸倒引当金※1	100,100 △ 96,245		
	3,855	6,515	2,660
(9)敷金保証金 ※2	80,512	78,186	△ 2,325
資産計	2,596,032	2,596,367	334
(1)支払手形	1,664,001	1,664,001	-
(2)買掛金	488,686	488,686	-
(3)工事未払金	244,843	244,843	-
(4)未払金	107,789	107,789	-
(5)短期借入金	300,000	300,000	-
(6)1年内償還予定の社債及び社債	180,000	183,796	3,796
(7)1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金	1,095,117	1,100,270	5,153
負債計	4,080,438	4,089,388	8,950

※1 破産更生債権等及び会員権に個別に計上している貸倒引当金を控除しております。

※2 敷金保証金は貸借対照表上、投資その他の資産「その他」に含めて表示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

資産

(1)現金及び預金、(2)受取手形、(3)売掛金、(4)完成工事未収入金、(5)未収入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(6)投資有価証券

これらの時価については、証券取引所の市場価格によっております。

(7)破産更生債権等

破産更生債権等は担保及び保証による回収見込額等に基づいて貸倒見積高を算定しているため、時価は当期末における貸借対照表計上額から現在の貸倒見積高を控除した金額に近似しており当該価額をもって時価としております。また、貸借対照表計上額63,211千円につきましては貸倒引当金を計上しております。

(8)会員権

これらの時価について、会員権の市場価格によっております。但し、市場価格がなく時価を把握することが極めて困難と認められるものについては帳簿価額を時価としております。また、貸借対照表計上額のうち96,245千円につきましては貸倒引当金を計上しております。

(9)敷金保証金

敷金保証金の時価算定は使用期間等を勘案し、無リスクの利子率で割り引いた金額を時価としております。

負債

(1)支払手形、(2)買掛金、(3)工事未払金、(4)未払金、(5)短期借入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(6)1年内償還予定の社債及び社債

当社の発行する社債の時価は市場価格がないため、元利金の合計額を当該社債の残存期間及び信用リスクを加味した割引率で割り引いた現在価値により算出しております。

(7)1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金

長期借入金の時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

区分	貸借対照表計上額(千円)
非上場株式	210,000

これらについては、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(6)投資有価証券」には含めておりません。

第42期決算公告 元旦ビューティ工業株式会社

賃貸等不動産に関する注記

1. 賃貸等不動産の状況に関する事項

当社では、大阪府において、賃貸用のマンション(土地を含む。)を有しております。
また、将来の使用が見込まれていない遊休不動産(休止中の静岡工場、夕張工場等)を有しております。

2. 賃貸等不動産の時価に関する事項

(単位:千円)	
貸借対照表計上額	時価
1,321,827	1,420,432

(注1) 貸借対照表計上額は、取得価額から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した金額であります。

(注2) 当期末の時価は、主として「不動産鑑定評価基準」に基づいて自社で算定した金額(指標等を用いて調整を行ったものを含む。)であります。

税効果会計に関する注記

(1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(流動項目)

繰延税金資産	
原材料評価損	82,240 千円
製品評価損	32,525
製品保証引当金	13,768
繰越欠損金	26,586
その他	11,721
繰延税金資産小計	166,842 千円
評価性引当額	△ 82,836
繰延税金資産合計	84,005 千円

(固定項目)

繰延税金資産	
貸倒引当金損金算入限度超過額	53,499 千円
退職給付引当金	111,247
投資有価証券評価損	4,981
会員権評価損	33,430
減損損失	404,820
その他	714
繰延税金資産小計	608,694 千円
評価性引当額	△ 593,519
繰延税金資産合計	15,174 千円

繰延税金負債	
繰延税金負債合計	— 千円

(2) 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の主な項目別の内訳

法定実効税率	40.6 %
(調整)	
交際費等永久に損金に算入されない項目	2.2
住民税均等割等	9.8
税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	2.8
評価性引当額の減少額	△ 23.1
その他	0.0
税効果会計適用後の法人税等の負担率	32.3 %

(3) 法定実効税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律及び東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法が平成23年12月2日に公布されたことに伴い、当事業年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算(ただし、平成24年4月1日以降解消されるものに限る)に使用した法定実効税率は、前事業年度の40.6%から、回収又は支払が見込まれる期間が平成24年4月1日から平成27年3月31日までのものは37.9%、平成27年4月1日以降のものについては35.5%にそれぞれ変更されております。

その結果、繰延税金資産の金額が6,976千円減少し、当事業年度に計上された法人税等調整額が6,976千円増加しております。

第42期決算公告 元旦ビューティ工業株式会社

退職給付会計に関する注記

(1)採用している退職給付制度の概要

当社は、退職金制度としてポイント制の退職一時金制度を採用しております。

(2)退職給付債務に関する事項

退職給付債務	△ 315,673 千円
未認識数理計算上の差異	4,342
退職給付引当金	△ 311,331 千円

(3)退職給付費用に関する事項

勤務費用	33,682 千円
利息費用	5,787
数理計算上の差異の費用処理額	△ 1,657
退職給付費用	37,813 千円

(4)その他退職給付債務等の計算基礎に関する事項

割引率	1.5 %
退職給付見込額の期間配分方法	ポイント基準
数理計算上の差異の処理年数	5 年

リースにより使用する固定資産に関する注記

貸借対照表に計上した固定資産のほか、事務機器、車両運搬具等の一部については、所有権移転外ファイナンス・リース契約により使用しております。

関連当事者との取引に関する注記

役員及び個人主要株主等

(単位:千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社等	船木商事有限会社(注4)	被所有直接9.3%	事務所の賃借	事務所の賃借	17,257	前払費用	1,438
						投資その他の資産(敷金・保証金)	6,950
	株式会社トオヤマ(注5)	なし	製品販売及び工事請負	製品の販売	101,988	—	—
				運送費の立替	436	—	—
				工事請負	4,000	—	—

(注1) 取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

(注2) 船木商事有限会社との価格その他の取引条件は、当社と関係を有しない他の当事者と同様の条件によっております。

(注3) 株式会社トオヤマとの価格その他の取引条件は、当社と関係を有しない他の当事者と同様の条件によっております。

(注4) 当社役員船木元旦及び船木亮亮の近親者が議決権の100%を直接所有しております。

(注5) 当社役員遠山一徳の近親者が議決権の65%を直接所有しております。

1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	252 円 45 銭
1株当たり当期純利益	21 円 68 銭

重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。